

2 学期がスタート

2 学期はどここの学校も大忙しです。本校も学習発表会や宿泊学習などの大きな行事が控えています。9 月 3 日の始業式では幼稚園児、小中学生から力強い 2 学期の抱負を聞くことができました。

9 月 14 日、P T A 主催の夏祭りが行われました。日本のお祭りの雰囲気味わってもらおうと、おでんや焼きそば、綿あめなどの食べもののお店や金魚すくいやヨーヨー釣り、射的などの遊びのコーナーもあり、本校の子供たちだけでなく、来場したインドネシアの方々も一緒に楽しむことができました。



すいかわり



金魚すくい

9 月 26 日には、4 名の中学部 2 年生が日本人学校の近くにある、6 つの飲食店が集まったナラパーク（オーナーが日本の奈良公園のような施設をめざして命名）で職場体験をしました。本校の職場体験は毎年、在留邦人の方にご協力をお願いして実施しています。

「お客様より先に大きな声で挨拶をする」など、職業人の基本からしっかり教えていただきました。



料理を作っている生徒たち

日本語パートナーズ着任

西ジャワ州に 20 名のパートナーズの方が着任しました。6 か月の任期中、高校などで日本語指導のサポートをします。



着任式に出席しました

パッションフルーツ

「これ、誰が育てているの？」学校の畑にある木のところにパッションフルーツがなっているのを見つけた私は、学校の公務補さんや先生方の運転手さんたちに誰が植えたか聞きました。「A さんが植えたはず」との情報をもとに A さんに聞くと、おそらく断りなく植えたのをとがめられると思った A さん、最初は知らないと言っていたのですが、パッションフルーツが私の大好物だと知ると、「私が植えました。校長先生、どうぞいくつでも持って行ってください。」と話してくれました。あまり店頭には並ばない大好きなパッションフルーツが学校で収穫できるようになったのは良いのですが、酸っぱいため、人気がなく、私にばかり回ってくるので、やや食傷気味となっています。

エクアドルではマラクヤ、ベネズエラではパルチッタ、インドネシアではマルキッサと言います。好きなものの名前はすぐに覚えます。



パッションフルーツ

種をまいてから 6 か月で収穫できるとの A さんの教えで、住宅の木の周りにも種をまいてみました。

ちなみにパッションフルーツはつる性の植物で、バンドンでは年に 2 回収穫できるようです。

現地校訪問(Sekolah Dasar Negeri 188)

近くの学校のことをもっと知って、現地理解を深めたいとの思いから、徒歩で行ける小学校を訪問しました。本校が休みの土曜日、本校の日本人教員 8 名で訪問しました。校長先生手作りのドーナツとバナナチップで迎えていただきました。もっとインドネシア語が話せたらとの思いを持ちました。



現地の踊り(ジャイボン)の練習